

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	北区立東十条保育園
施設所在地	北区東十条3-2-14
法人名	社会福祉法人育成会
活動期間	令和7年4月～令和8年2月
実施報告書No.	50-LO-518-0

1. 活動のテーマ

【テーマ】

- ・ 乳児体幹を鍛える運動遊び

【テーマ設定理由】

- ・ 手足をバランスよく使う身体の協調性、身体を支える姿勢を保つ体幹の力、斜面に合わせて動きを調整するバランス感覚や調整力を育む

2. 活動期間

- ・ 1年間

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ マット
- ・ クライミングネット
- ・ 巧技台

4. 探求活動の実践

(活動の内容／動中の子どもの姿・声、子ども同士や保護者との関わり)

【はしご】



手足の動きを少しずつコントロール出来るようになり、クマ歩きや壁に掴まっての伝い歩き、傾斜を登ったり降りたり…と、楽しんでいる。

【クライミングネット】



- ・ クライミングネットでは、「渡る」「登る」など普段使わない動きを体験しバランス感覚や全身の使い方が自然と身についています。また、不安定な足場で「どうすればうまく進めるかな？」と考えながら動くことで、転びにくい身体作りだけではなく自発性や積極性も育っています。

【マット・巧技台】



- ・ 巧技台などからジャンプをするのが大好きな子が多く、年間を通し、色々な高さや場所を変えて経験を重ねていったことで高い所からのジャンプがとても上手になり、両足でしっかりと着地が出来るようになりました！また、そのお友達の姿を見て興味を持ち「やってみよう」と挑戦する姿も見られています

5. 振り返り

(振り返りによって得た先生の気づき)

一年を通して運動遊びに取り組む中でブランコの順番を守るなど、遊びの中でのルール理解が進みました。遊びの関わりも『保育者と』から『友達と』へと変化し、友達の様子を見て真似をすることで遊びも広がっています。また、「こうやってみたい」「あれをやりたい」と自分の思いを伝える姿も増え、子ども達自身が遊びを発展させようとする姿が見られるようになってきました。その思いを大切に受け止めてどうしたらよ子

ども達が夢中になって遊び込めるようになるかを意識しながら進めてきました。新しく仲間入りしたクライミングネットでは、繰り返し遊ぶ事で腕と手先、足の指先の感覚が育ち、なんと上の方まで登れるお友達も出てきています。4月当初は先生と手を繋いでわたっていたはしごでは、クマさん歩きで自分で最後まで渡れようになりました！繰り返し行ってきた経験が子どもたちの自信となり、「次はこんな事やってみたい！」という気持ちのきっかけとなっていますこれからも子ども一人ひとりの成長や身体機能の発達に合わせ、体を動かす楽しさを感じられる運動遊びを工夫していきたいと思えます。

—以上—